

2021年度上半期 豊岡市障害者自立支援協議会 運営会議 報告資料

メンバー	代表：谷 友紀子（生活支援センターほおずき） 委員：山本 直（豊岡市障害者相談支援事業所）、稲津 慎也（北但広域療育センター風）、 宮下 典子（NPO法人セルフサポートいずし）、木村 尚子（一般社団法人暮らしの学校 農楽）、 福田 寛子（豊岡市健康増進課）、岡本 優嗣（豊岡市社会福祉課） 事務局：梶原 博和、松田 悟、足立 美由紀（豊岡市社会福祉課）
------	--

会議	1回(6/1)、2回(6/22)、3回(7/30)、 4回(8/24)、5回(9/30)、6回(10/13)
----	---

期	現状と課題	協議の主な内容	下半期の取組方針
上半期	相談支援体制について ・障害福祉サービス利用者が増えており、新規の相談が断られていることがある。 ・児童のセルフプランが増えてきている。 ・相談支援専門員が抱えている件数が多い。	・相談支援専門員を増やす必要がある。 ・委託相談を全事業所に委託する方法もある。また、地域課題は委託相談に挙げて、役割分担する方法もある。 ・相談支援体制を見直す必要があり、その中でサービス提供事業所と共に、生活支援の役割を考えていく必要がある。 ・障害者基幹相談支援センターを含めて、今後の相談支援体制について理解を求めていく必要がある。	・市において検討を進める。
	人材確保及び育成について ・福祉人材が不足している。募集をかけても応募がなかったり、働いて数年で転職される方がある。 ・職員の交流や情報共有の場が少なく、悩みを軽減できる場が必要である。	・豊岡の福祉の仕事を発信していく必要がある。 ・人材の確保と育成を同時に進めることは難しい。まずは育成を充実させて、その後、確保を取り組んでいきたい。 ・事業所間で人事交流し、他の事業所を経験することでいい刺激を受ける。 ・研修を行い、交流や意見交換ができる場が持てたらいい。 ・対人援助や虐待防止研修が必要である。	・福祉の仕事、対人援助などの全般的なことの研修を行うと共に、事業所からの意見も聞きながら、人材育成について検討していきたい。 「障害者福祉研修(予定)」 1. 日時：2022年2月11日(金・祝) 2. 場所：豊岡市役所本庁舎 大会議室 3. 講師：学識経験者 ・県の研修等の活用しながら、市内の事業所のスキルや知識の向上を図っていきたい。